

令和3年度市政モニターアンケート  
**防災環境都市づくりに関する意識調査**

令和4年3月  
まちづくり政策局  
防災環境都市推進室

## 1. 調査の概要

### (1) 調査の趣旨

頻発する地震や、地球温暖化を一因とする気候変動による豪雨等の災害への対応は喫緊の課題となっています。仙台市は東日本大震災の経験と教訓をふまえ、快適で防災力の高い「防災環境都市づくり」に取り組んでいますが、今後も「防災環境都市」としての魅力を高めていくため、市民の皆さまのご理解とご協力のもと、さまざまな取り組みを進めていく必要があります。

本調査は、「防災環境都市」としての認知度やあるべき姿について、市民の皆さまが抱くイメージを把握するために実施しました。同一年度内に2回にわたって調査を行うことで、イメージの変化を確認し、より効果的な施策を進めていくための検討資料として活用するものです。

### (2) 調査期間 ①令和3年6月22日～7月5日

②令和3年12月15日～12月28日

※ ①と②の間に、「防災環境都市」としての取り組みを紹介する新聞広告等の情報発信を実施

### (3) 調査対象 市政モニター200名

### (4) 調査方法 郵送及びインターネット

### (5) 回収数 ①令和3年6月22日～7月5日 195 (回収率97.5%)

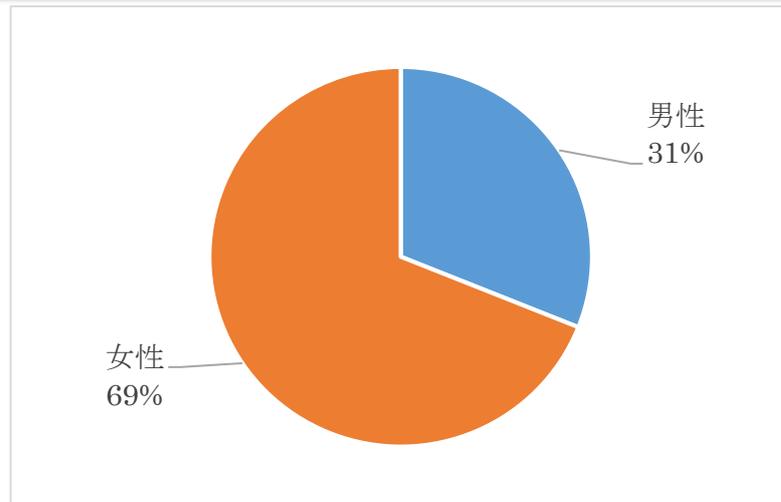
②令和3年12月15日～12月28日 190 (回収率95.0%)

## 2. 調査結果

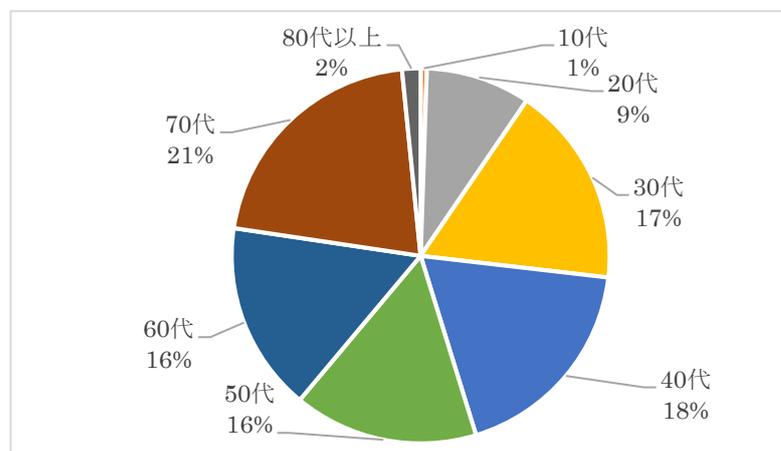
※ 問の番号と集計結果については、調査①の内容を基に掲載しています。(調査②の内容については【問〇に関する追加質問】として別に掲載しています。)

## I. あなたご自身とお住まいについて

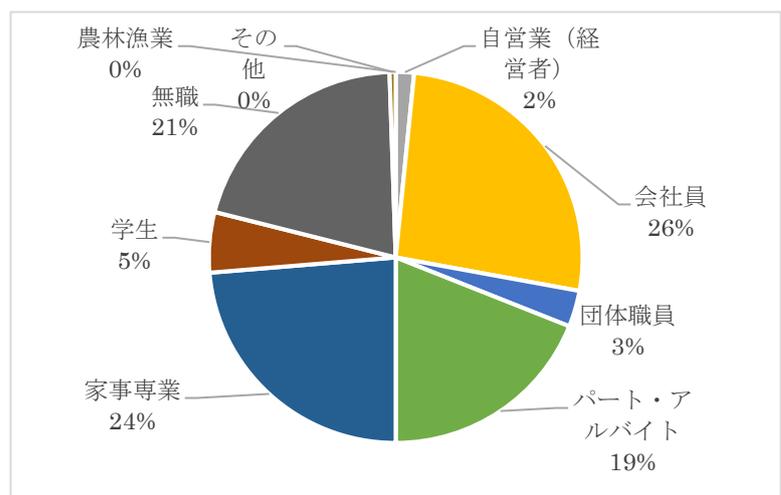
### 問1 性別



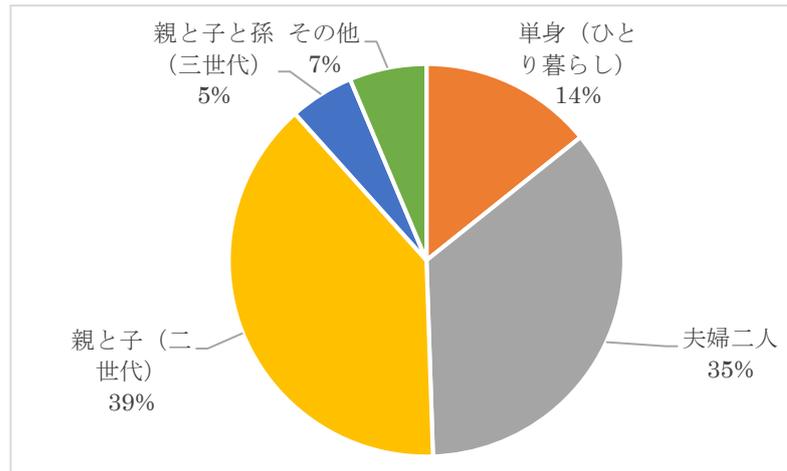
### 問2 年齢



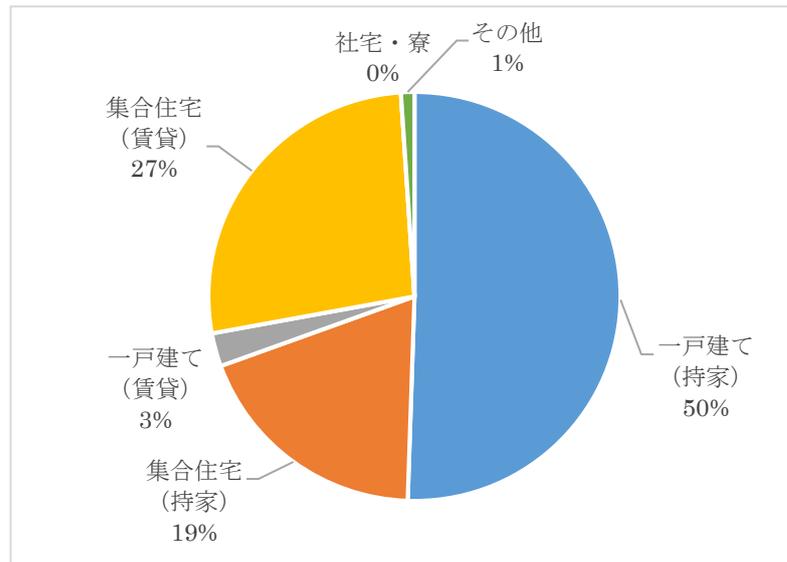
### 問3 職業



問4 家族形態

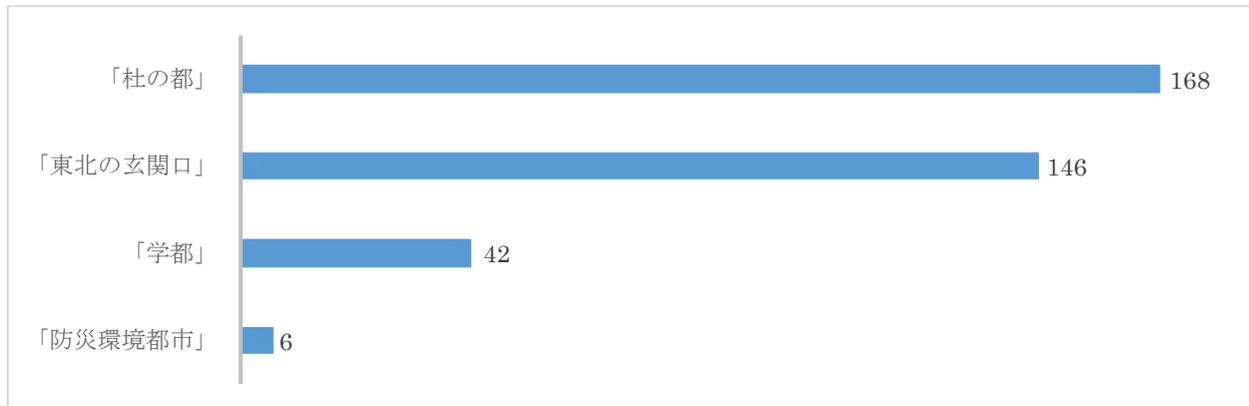


問5 居住形態

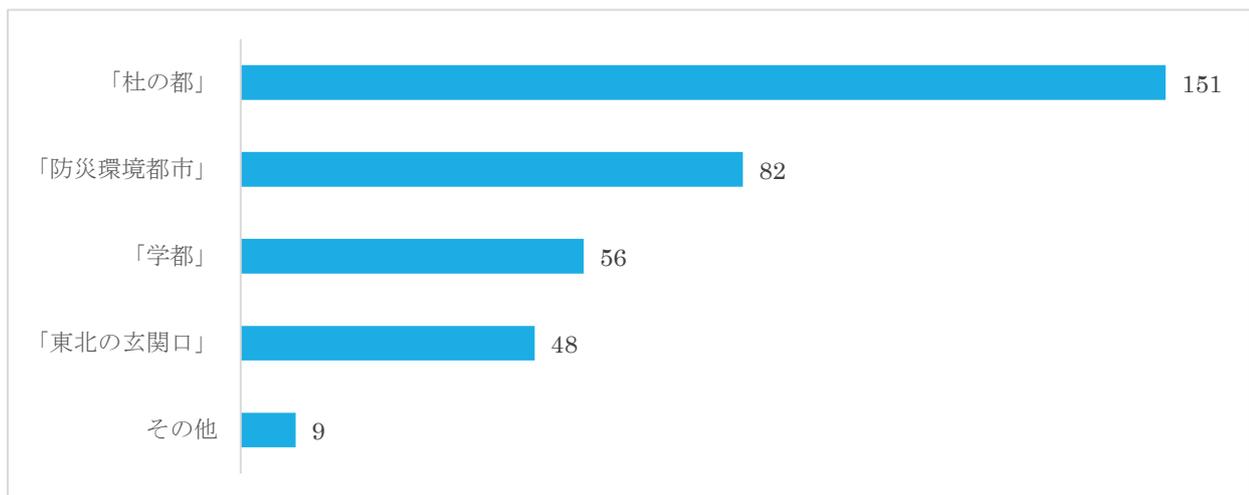


## Ⅱ.仙台市のイメージについて

問6 仙台市にどのようなイメージを強くお持ちですか。(☑は2つ)

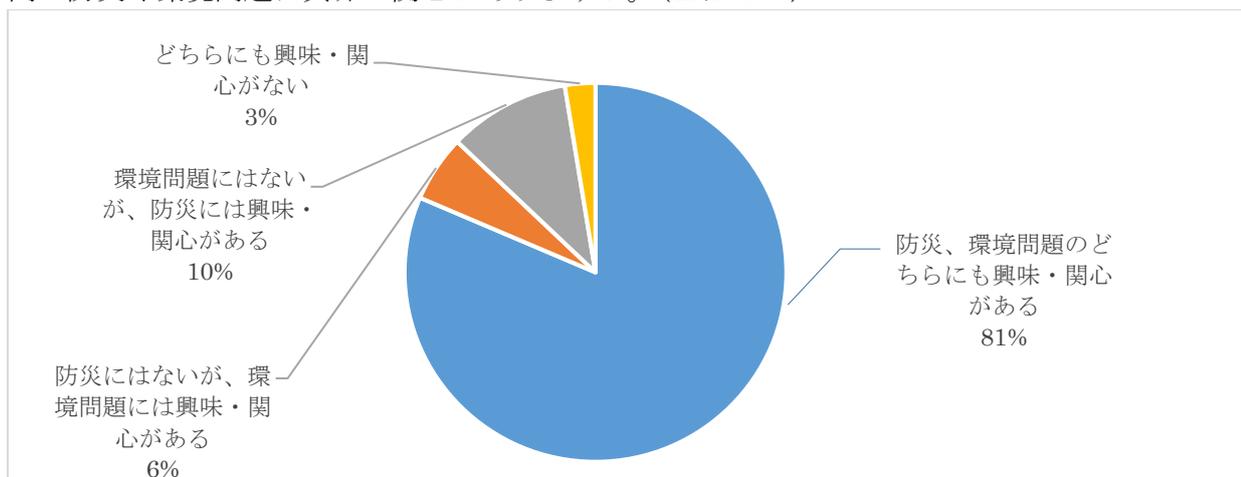


【問6に関する追加質問】 仙台市が今後、どのようなまちになればいいと思いますか。(☑は2つ)

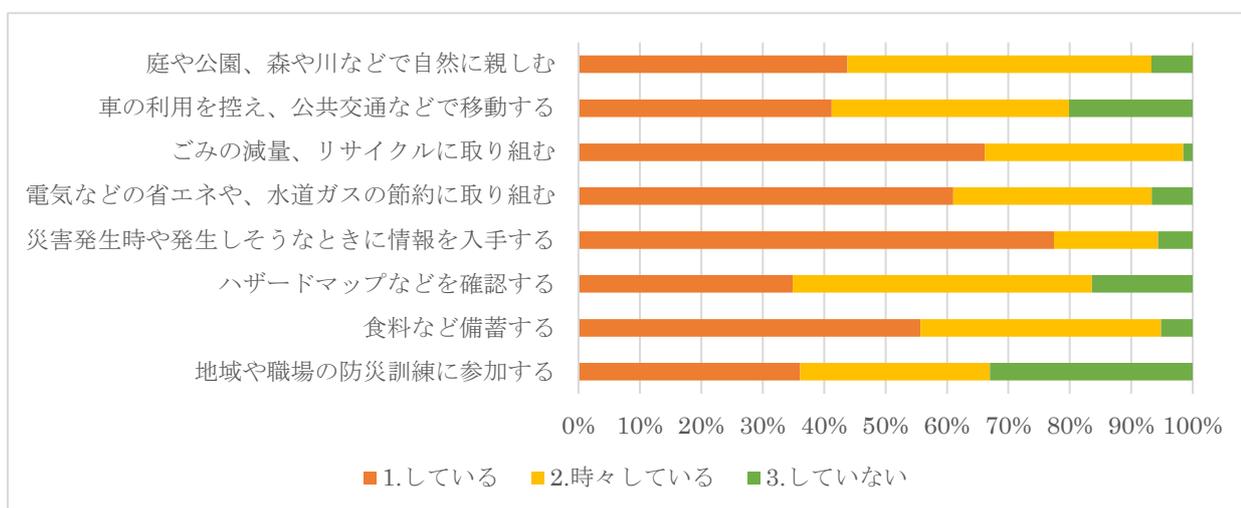


「杜の都」としてのイメージが強いが、「防災環境都市」となっていくことを期待する意見も多い。

問7 防災や環境問題に興味・関心がありますか。(☑は1つ)



問8 ふだん、家庭や職場でしている行動について教えてください。(行動ごとに☑は1つ)

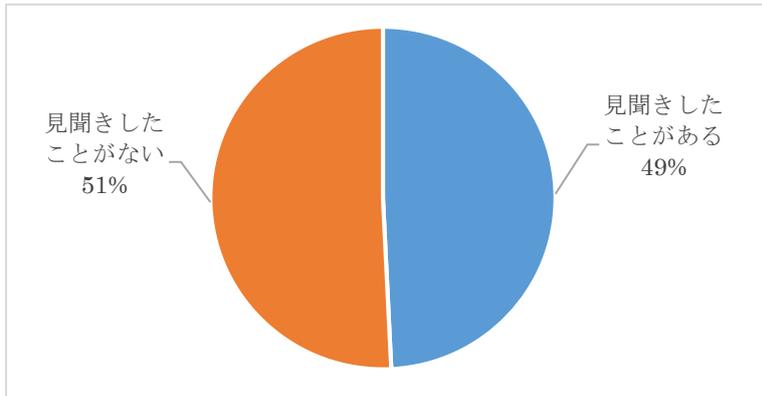


多くの方が防災・環境問題の両方に関心があり、行動を心掛けている。

### Ⅲ. 防災環境都市づくりについて

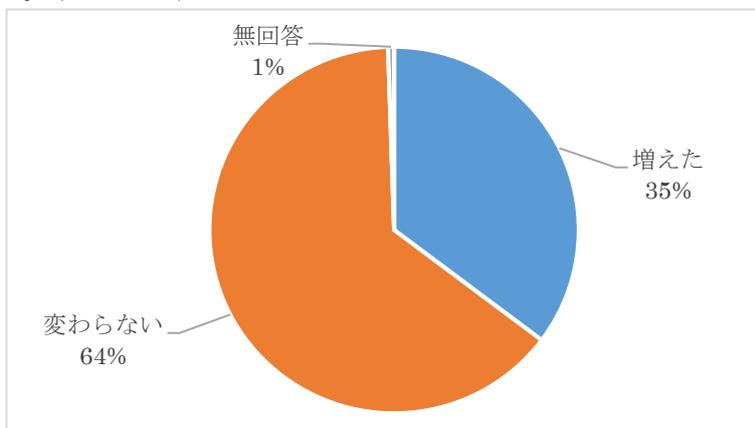
問9 「防災環境都市・仙台\*」という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。(☑は1つ)

\* 仙台市が歴史の中で築き上げてきた、豊かな自然と市民の暮らしや都市機能が調和した「杜の都」としてのまちづくりに、東日本大震災の経験や教訓をふまえて、防災の視点を織り込んだ都市のありようを示すスローガン



約半数の方が「防災環境都市・仙台」を見聞きしたことがあると回答。

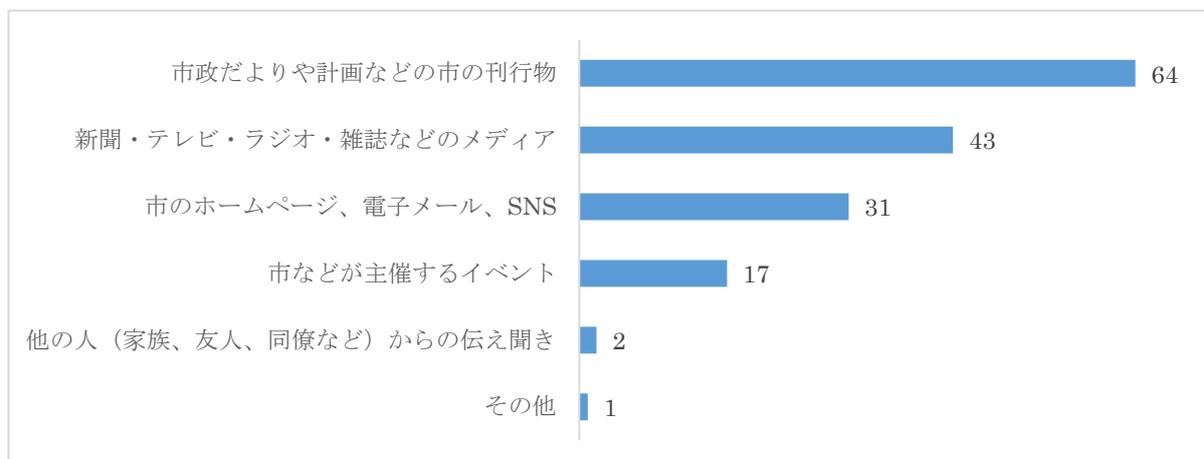
【問9に関する追加質問】「防災環境都市・仙台」という言葉を見たり聞いたりする機会が増えたと感じますか。(☑は1つ)



3割以上の方が「防災環境都市・仙台」という言葉を見たり聞いたりする機会が増えたと回答。

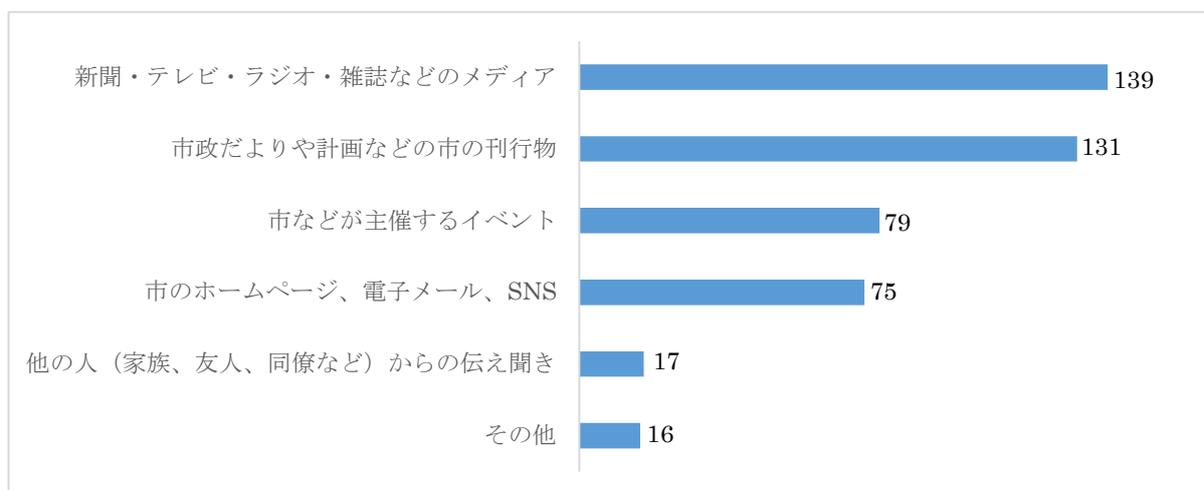
問10 〈問9で「1. 見聞きしたことがある」と回答された方〉

「防災環境都市・仙台」という言葉をどこで見たり聞いたりしましたか。(☑は複数可)



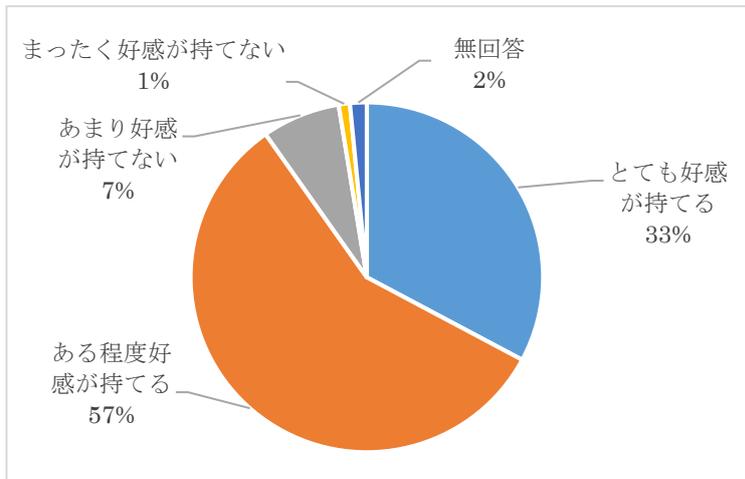
市政だよりや計画などの市の刊行物で目にしてている方が多い。

**【問10に関する追加質問】**「防災環境都市・仙台」の情報がどこに出ていれば、見たり聞いたりする機会が増えると感じますか。(☑は複数可)



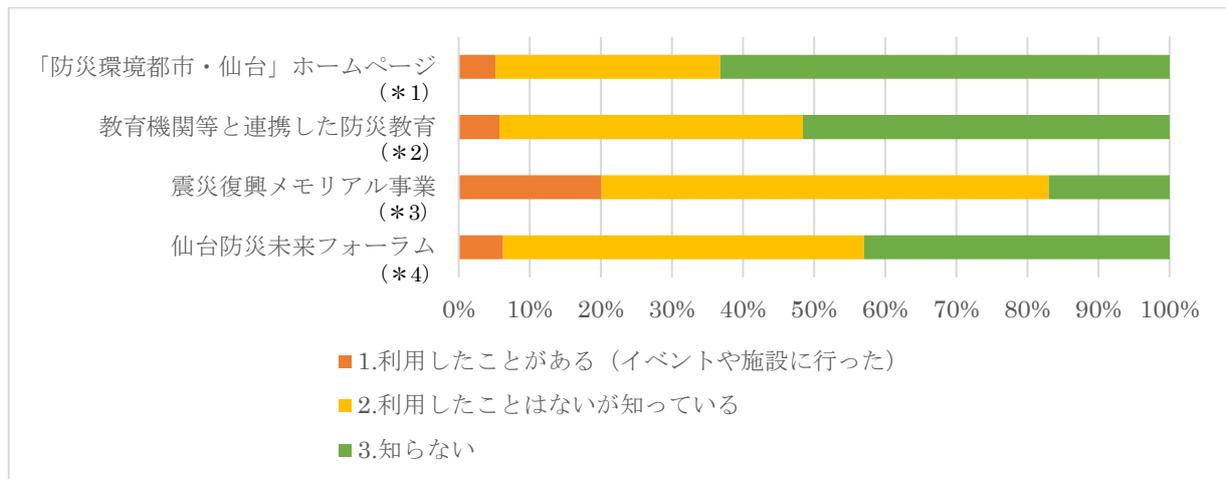
新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのメディアでの発信が効果的と回答する方が多い。

問11 「防災環境都市・仙台」についてどのくらい好感が持てますか。(☑は1つ)



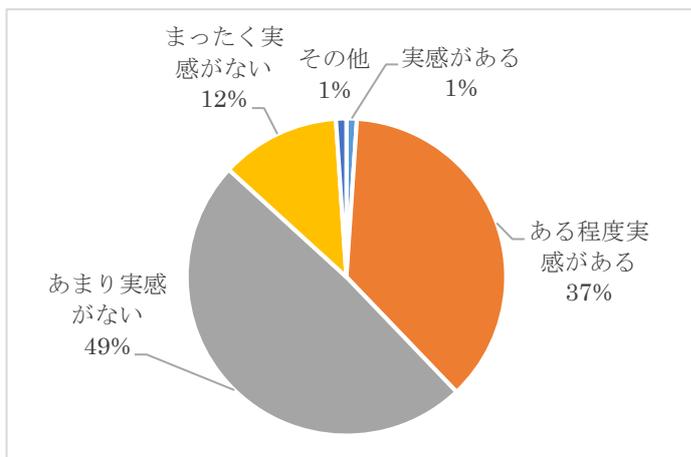
約8割の方が「防災環境都市・仙台」について好感が持てると回答。

問12 防災環境都市づくりに向けた仙台市の施策や事業をご存知ですか。(施策・事業ごとに☑は1つ)



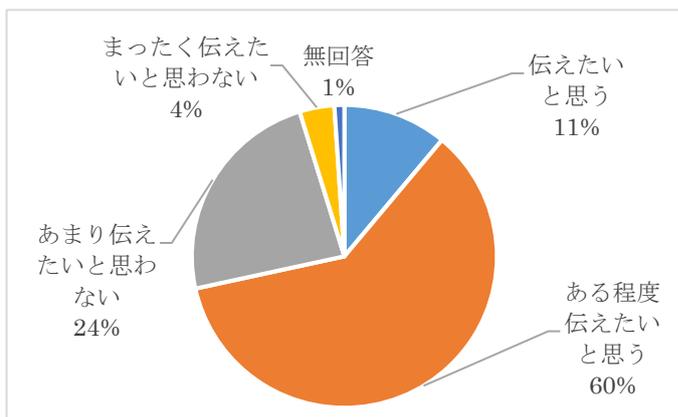
- \*1 「防災環境都市づくり」に関する施策や事業の情報をまとめたポータルサイトを運営しています。
- \*2 大学などの教育機関と連携し、ワークショップなどを通じて、市民の方に「仙台防災枠組」(問17参照)を学べる講座(仙台防災枠組講座)や、復興まちづくりや震災遺構に関する小学校などへの出前授業を行っています。
- \*3 震災の記憶や教訓、復興への取り組みを市民の皆さまと共有しながら、世界や未来へつなげていくため、震災復興メモリアル施設(「震災遺構仙台市立荒浜小学校」や「せんだい3.11メモリアル交流館」など)の整備を進めるとともに、震災・復興に関する資料・画像・映像データ等を震災復興アーカイブとして整備し、発信しています。
- \*4 東日本大震災の経験や教訓を未来の防災につなぐため、市民の皆さまとともに防災について学び、考え、発信するイベント。平成28年(2016年)以降毎年開催しています。

**【問 11 と 12 に関する追加質問】** 仙台市が「防災環境都市づくり」を進めていることについて、どのくらい実感がありますか。(☑は1つ)



約6割の方は「防災環境都市づくり」を進めていることについて実感がないと回答。

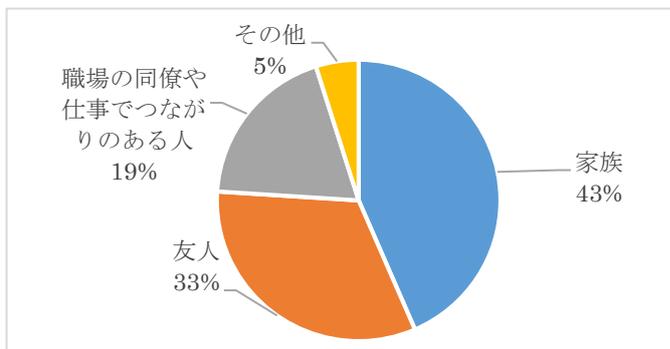
問13 仙台市が「防災環境都市づくり」を進めていることを誇りに思ったり、他の方に伝えたりしたいと思いませんか。(☑は1つ)



約8割の方が「防災環境都市づくり」について誇りに思ったり、他の方に伝えたいと回答。

問14 (問13で「1. 伝えたいと思う」「2. ある程度伝えたいと思う」と回答された方)

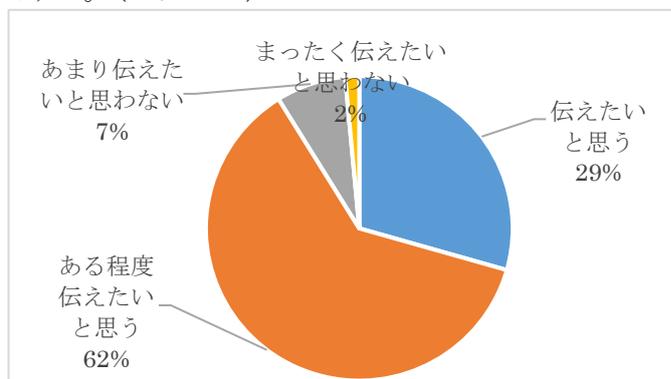
仙台市が「防災環境都市づくり」を進めていることを誰に伝えたいですか。(☑は1つ)



家族・友人に伝えたいという方が多い。

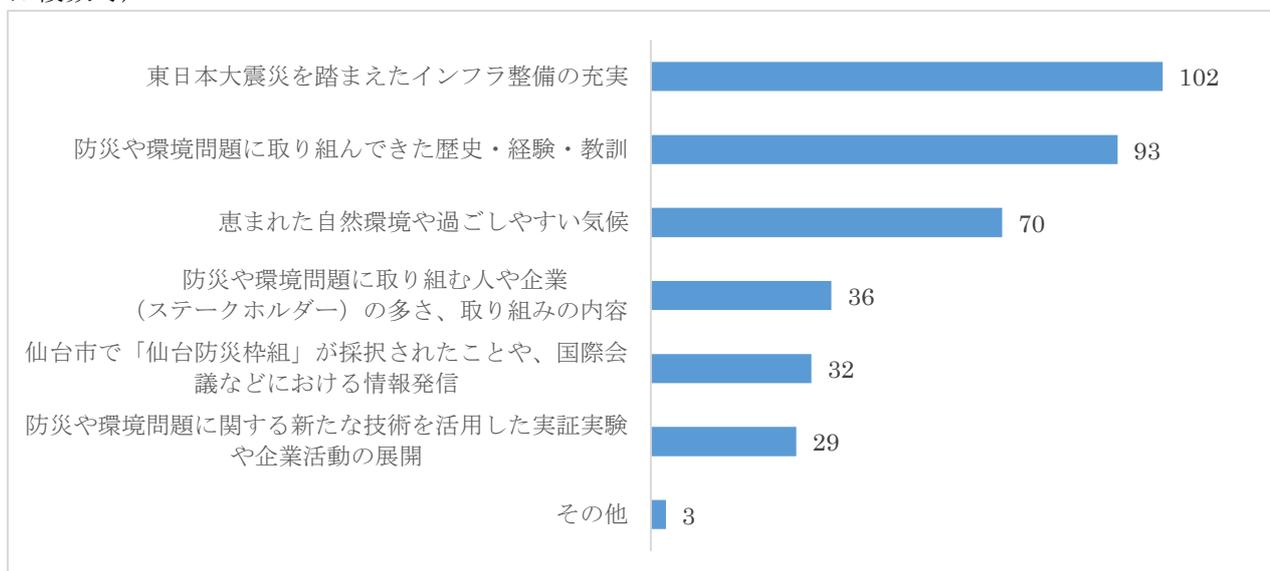
問 15 〈問 13 で「1. 伝えたいと思う」「2. ある程度伝えたいと思う」と回答された方〉

仙台市が「防災環境都市づくり」を進めていることを、仙台市外に住んでいる人々にも知らせたいですか。(☑は1つ)



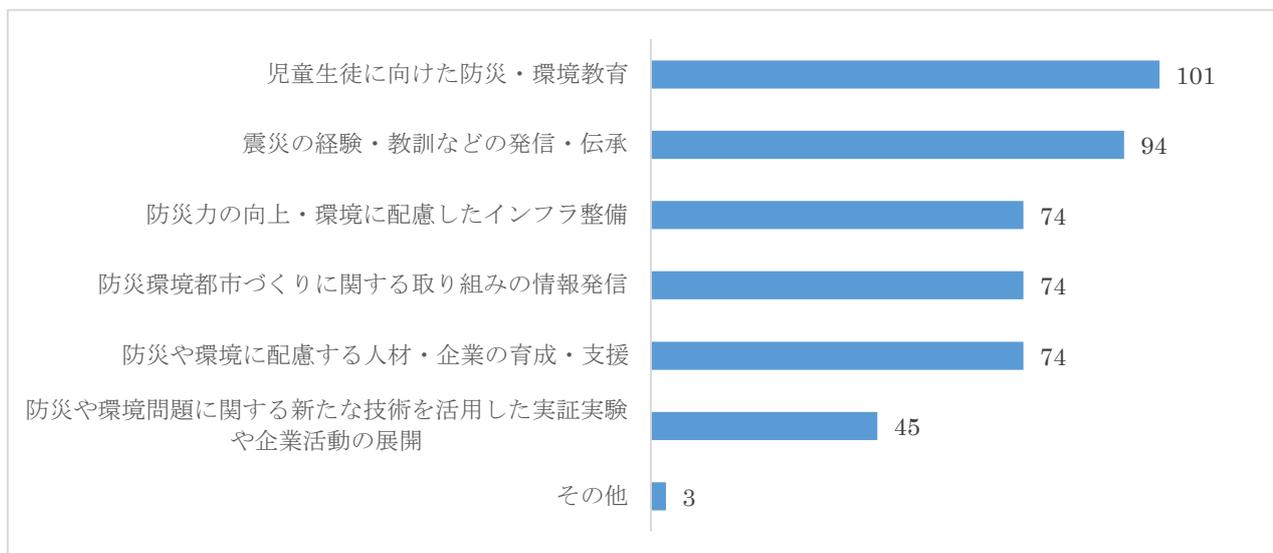
約 9 割の方が市外に住んでいる人にも知らせたいと回答。

〔問 15 に関する追加質問〕 「防災環境都市づくり」について、どのような点を伝えたいですか。(☑は複数可)



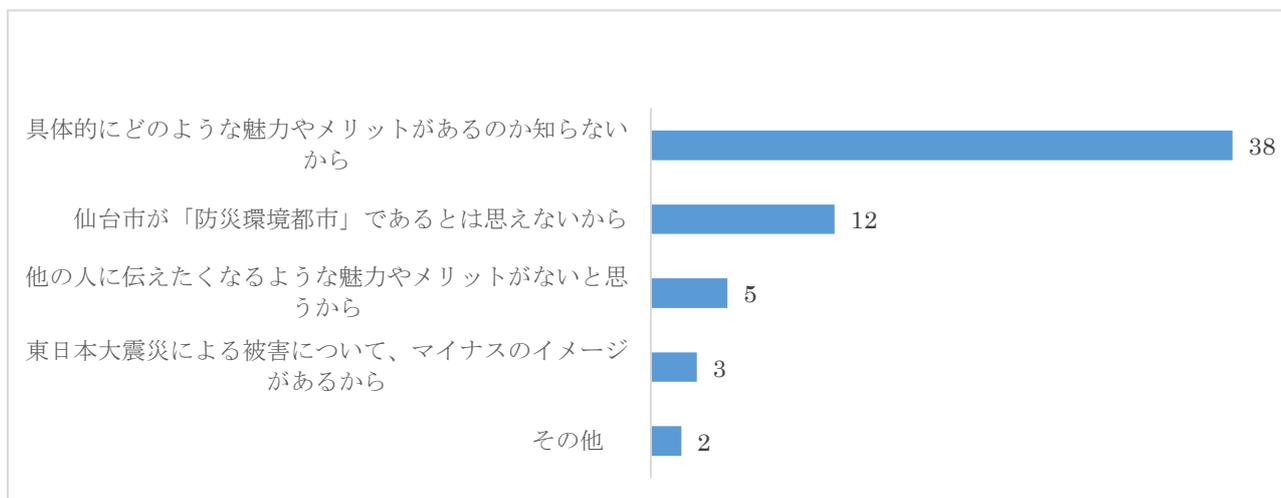
インフラ整備の充実、防災や環境問題に取り組んできた歴史、恵まれた自然環境などを伝えたいという回答が多い。

**【問 15 に関する追加質問】**「防災環境都市づくり」を進めるためには、どのような取り組みが有効だと思いますか。（☑は複数可）



**防災・環境教育や経験・教訓の伝承など、未来の担い手やひとづくりに力を入れるべきという回答**

問 16 <問 12 で「3.あまり伝えたいと思わない」「4.まったく伝えたいと思わない」と回答された方> その理由はどのようなものですか。（☑は1つ）

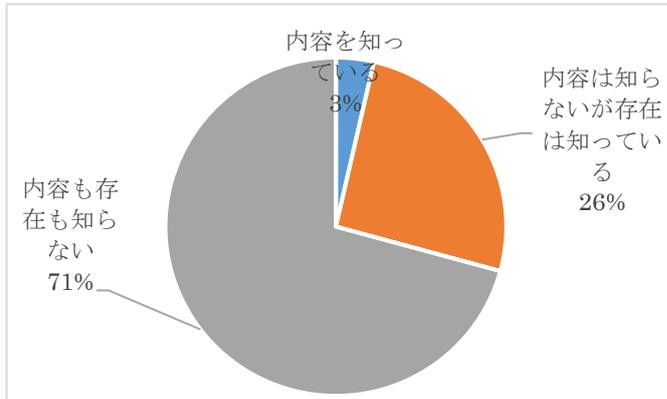


**具体的にどのような魅力やメリットがあるか知らないため、伝えたいと思わないという方が多い。**

#### IV. 国内外に向けた仙台市に関する情報発信について

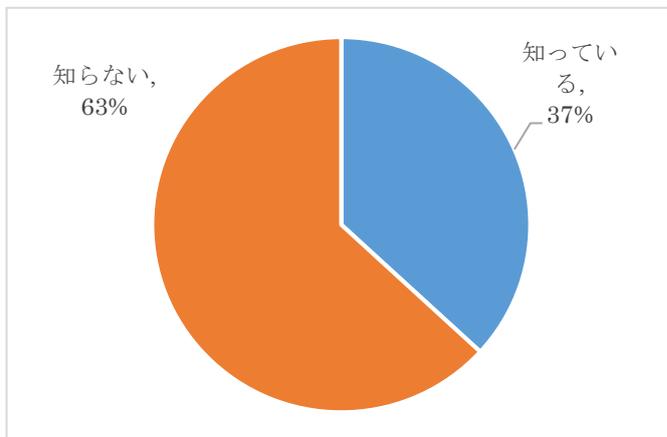
問 17 「仙台防災枠組\*」について伺います。「仙台防災枠組」の存在や内容を知っていますか。（は1つ）

\* 平成 27 年（2015 年）の第 3 回国連防災世界会議（仙台市で開催）で採択された、2030 年までの国際的な防災の取り組み指針



約 3 割の方が存在を知っていると回答。

問 18 <問 17 で「1. 内容を知っている」「2. 内容は知らないが存在は知っている」と回答された方> 「仙台防災枠組」が行政だけでなく、企業や市民などすべての人に共通する目標であることを知っていますか。（は1つ）

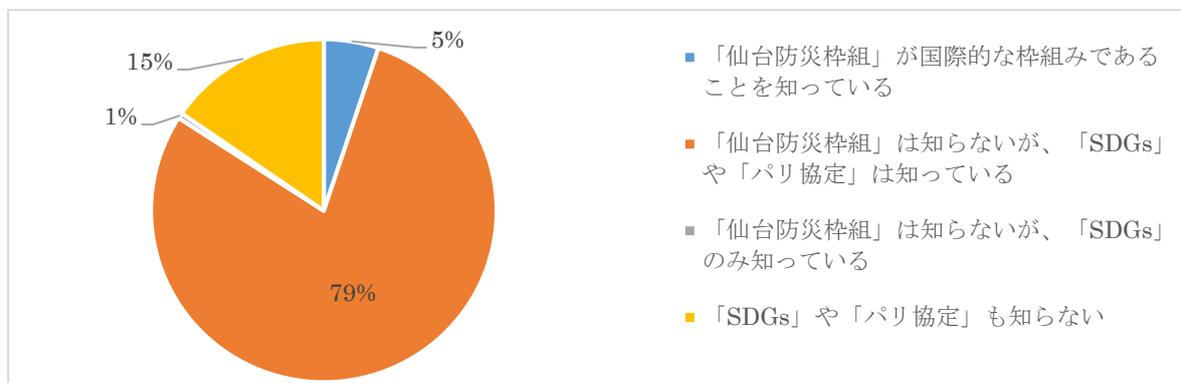


「仙台防災枠組」を知っていると回答した方のうち、約 4 割は市民・企業・行政などのあらゆる人や団体（マルチステークホルダー）に共通する目標であることを知っていると回答。

問 19 「仙台防災枠組」が「SDGs\*1」や「パリ協定\*2」と並ぶ国際的な枠組みであることを知っていますか。（☑は1つ）

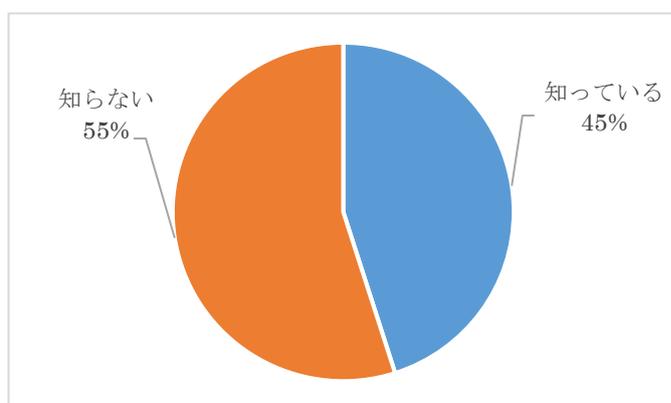
\*1 平成 27 年（2015 年）の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に盛り込まれた、令和 12 年（2030 年）までの国際社会共通の目標

\*2 平成 27 年（2015 年）に「気候変動枠組条約第 21 回締約国会議（COP21）」で採択された、温室効果ガス排出削減等のための国際枠組み



問 20 仙台市で「世界防災フォーラム\*」が開催されていることを知っていますか。（☑は1つ）

\* スイスの防災ダボス会議と連携し、国内外から産・官・学・民の防災関係者が集まる日本発（仙台発）の国際フォーラム。東日本大震災に関する知見の共有や防災の具体的な解決策の創出等を踏まえ、「仙台防災枠組」の推進や「防災・減災は特別なことでなく、つねに意識すべきこと（防災の主流化）」を仙台から世界へ浸透させることを目指し、平成 29 年（2017 年）から一年おきに開催されています。



4 割以上の方が「世界防災フォーラム」の開催を知っていると回答。

「仙台防災枠組」の認知度は「SDGs」や「パリ協定」と比べて低いですが、「仙台防災枠組」の存在を知らなくても、その推進に向けた取り組みである「世界防災フォーラム」が仙台市で開催されていることを知る方はいると考えられる。

## VI. 自由意見

問 21 仙台市以外で「防災環境都市」にふさわしいと思うまち（国内外を問わず）があれば、その理由と合わせてお書きください。（一部を抜粋）

- ・神戸市（阪神・淡路大震災の経験があるため）
- ・熊本市（熊本地震の経験があるため）
- ・広島市（平成 26 年の土砂災害の経験があるため）
- ・石巻市、気仙沼市、南三陸町、釜石市、大槌町（東日本大震災に関するメモリアル施設等があるため）
- ・東松島市（SDGs 未来都市に認定されているため）
- ・多賀城市（多賀城高校に防災コースがあるため）
- ・横浜市（環境政策が進んでいるため）
- ・東京都（首都直下地震に対する備えが進んでいるため）
- ・インドネシア（スマトラ島沖大地震の経験があるため）
- ・ドイツ、スウェーデン（地球温暖化対策が進んでいるため）

問 22 最後に、仙台市の「防災環境都市づくり」に向けた施策・事業についてご意見等ございましたら、自由にお書きください。（一部を抜粋し要約）

- ・知らなかったことがたくさんあるが、好感が持てる。
- ・仙台から世界へ浸透させることに強く賛同する。今後の展開に期待している。
- ・地域と学校が連携した避難訓練など、防災に対する意識が高く、安心して暮らせるまちであることをありがたいと感じる。
- ・東日本大震災の後、沿岸部などに市民が安心して暮らせる設備等を作っているのので、近所に住んでいる人だけではなく市民にもっと伝えていけば、近くに遊びに行ったりする機会が増えると思う。
- ・インフラ整備はある程度進んでいるため、今後は、住民の災害に対する意識を持続させるための取り組みを継続して行っていくことが大事だと思う。
- ・災害は地震だけでなく、多種多様な被害を発生させている。施策についても、地震だけに特定せずあらゆる災害発生を想定した内容にしてもらいたい。
- ・大雨の浸水に対しての対策をあまり聞かないので、そこを重視してもらえると嬉しい。
- ・自分の住む地域は安全であるといった漠然とした安心感を持っており、個人の危機意識が薄い。個人やコミュニティ単位での、防災意識、知識、体験など行動としての活動が不足している。
- ・ハンディキャップのある人や老人、子ども等の弱者の目線を施策に反映してほしい。
- ・防災教育を活発化することが必要。
- ・幼稚園児・小学生・中学生に向けて活動すべき。まちづくりは今の大人よりも子どもや若者たちにとって重要なこと。小さいうちから意識させていくことが必要。

- ・これからも大学などの教育機関と連携した市民向けの講座、出前授業を積極的に行ってほしい。
- ・震災メモリアル施設への見学を小学校、中学校、高校の授業の一環として、位置付けてほしい。
- ・仙台市の震災メモリアル施設はよく整備されているが、宮城県あるいは東北の同様の施設との連携をさらに強めてほしい。
- ・1日市民が車を使わない日を設定する、公共交通機関を利用してもらうために電車やバスの運賃を下げる、市民参加型のイベント（広瀬川清掃活動など）に参加すれば備蓄食をもらえる、といった企画をすればいいのではないかな。
- ・「防災環境都市」というネーミングが漠然としておりイメージが沸きにくい。
- ・「防災環境都市」とははっきり言える自信がないので、力を入れている部分をもっと知りたい。
- ・「防災環境都市」づくりという名称が堅苦しく身近に感じられず他人事のように感じてしまう。もう少し親しみやすいキャッチコピーみたいなものがあれば自分事として考えられる。
- ・震災の経験と教訓は市民レベル（日常生活）に充分浸透しているが、地球温暖化対策は見える化されていない。現状は「防災環境都市」より「防災都市」づくりに感じる。
- ・現在、どのくらい事業が進んでいるのかをさまざまなメディアを通して発信していると思うが、なかなか伝わってこない。より多くの市民が知ることで、防災意識が高められると思うので、もっと発信してほしい。
- ・「防災環境都市」づくりにあたって、活動組織の簡素化とその役割の明確化、市民参加がスムーズに行えるフラット化が必要。町内会や一般市民・NPOとの連携を通じてたやすく参加しやすい環境を設定してほしい。また市民向けのイラストを多用した冊子類の配付・掲載も拡充すべき。
- ・SDGsなどの認知度は高いが、その内容を知らない、または内容が理解しにくいから何をすれば良いのかよく分からないという人が多いと思う。防災や環境問題に関しても、事業名を知っているだけではなく、内容を理解して実践することが重要であると思う。
- ・世界防災フォーラムの会議内容がインターネット中継されるとより認知度が上がると思う。

**【問 22 に関する追加質問】** 仙台市では、令和3年10月から毎月1回、「防災環境都市づくり」について、より多くの方に知っていただくため、新聞広告や市のホームページにおいて別紙の内容を掲載しています。この内容に関して、取り上げている項目やテーマ・デザインなどについて、ご意見やご感想があれば、ご自由にお書きください。（一部を抜粋し要約）

- ・とても詳しく書かれた内容。杜の都を意識したデザインが各所にあり、仙台市の魅力がひとめで分かるようになっている。
- ・活動などが記載されていて、初めて読んだ人にも分かりやすく良い。
- ・杜の都なので緑色を使用しているかと思うが、あまり目を引くデザインではないと思う。

- 内容が少し多い。項目を絞って、写真も大きいものを1枚にした方がぱっと目に入りやすい。
- もう少し文字を減らし、イラストで表現できれば堅苦しくなく興味を持てるのでは。
- 見逃してしまう可能性があり、引きつけるインパクトが必要。
- 意識していなかったこともあり、気が付かなかった。これを機に意識していきたい。
- 防災・環境のイメージがわかるロゴ。防災と環境をどう調和させるのかがわかるように出来ればよい。
- もっと若者向けに SNS やユーチューブなどで紹介や宣伝をすることも大切。
- 市のホームページなどを見る機会は少ないが、コロナのこともあり LINE などでアカウント登録している人は多いと思う。併せてお知らせしてみるとよい。
- 市の毎月の広報誌に入れるなどすれば多くの人の目にとまると思う。
- 地下鉄の中吊り等に掲載してほしい。
- これまでと同様に継続して PR することが大事だと思う。
- まだまだ広報が足りない。素晴らしい事業内容なので、市民にとってどんなメリットがあるのか少しずつ周知してほしい。
- 積極的に活動している町内会などの事例を掲載して欲しい。
- 地球温暖化を食い止める対策がもっとも急がれる対策だと思う。今後もエネルギー対策など国に先んじてやっていくべき。